

経営比較分析表（令和元年度決算）

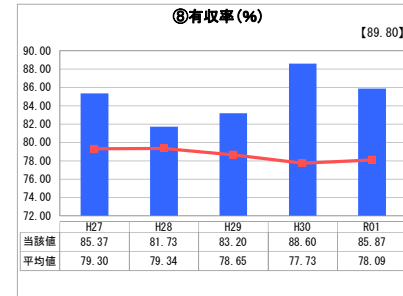
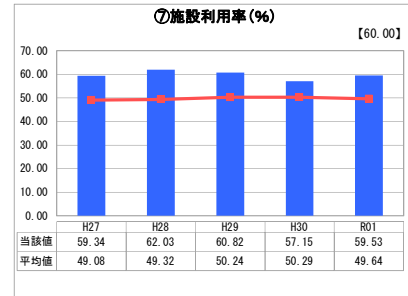
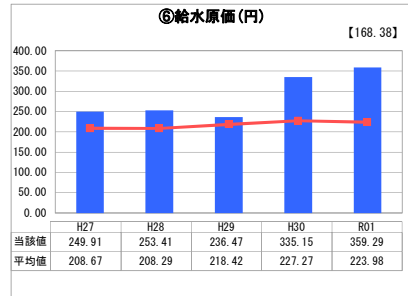
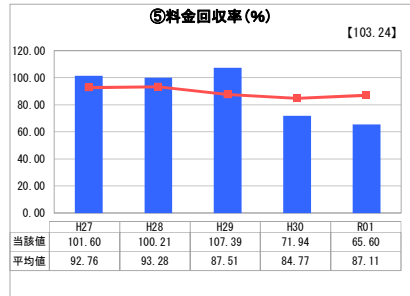
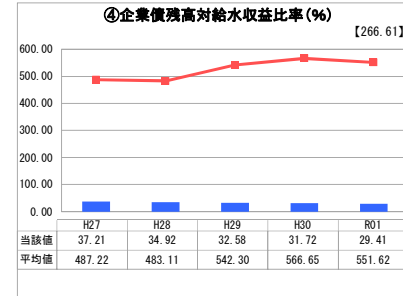
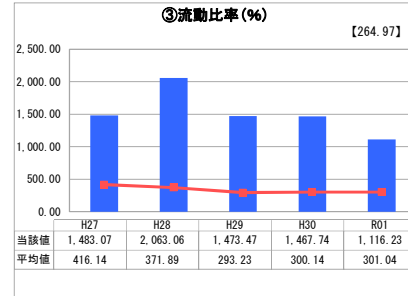
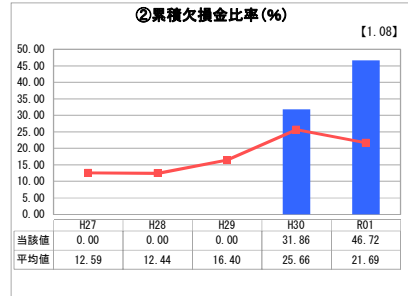
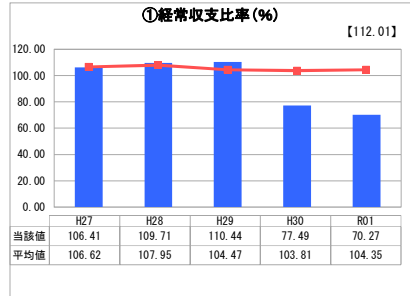
佐賀県 江北町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)	
-	94.81	99.93	4,950	

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
9,741	24.49	397.75
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
9,690	24.49	395.67

グラフ凡例	
■	当該団体値 (当該値)
—	類似団体平均値 (平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

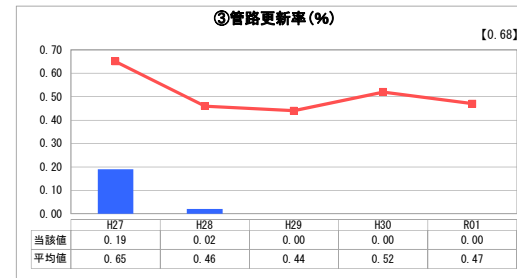
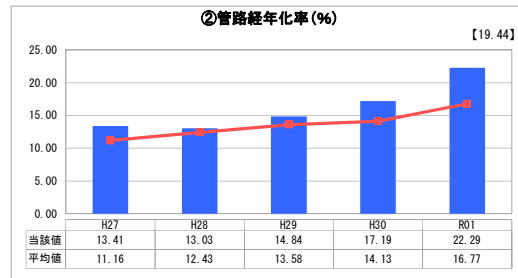
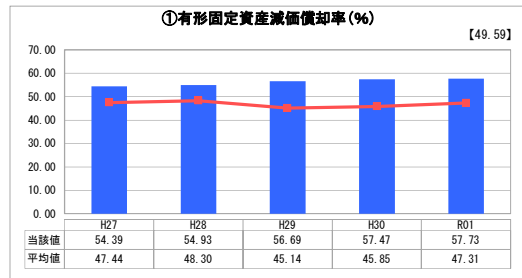
1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率については、工事請負費、設計委託料の増加、事業統合に際して施設除却を行ったため低くなっている。
 ②累積欠損比率についても工事請負費、設計委託料の増加が主な原因で経費が増大し、高くなっている。
 ③流動比率④企業債残高対給水収益比率については、類似団体と比較しても良好な状態である。
 ⑤料金回収率については、節水型給水装置の普及に伴い1世帯当たりの使用水量が減少していることや、平成30年8月に行った料金改定が主な要因で料金収入が減少したこと、給水原価が高くなったことにより、下がっている。
 ⑥給水原価については、年間総有収水量があまり変わらず①と同様に工事請負費が増額したためや自己水源に乏しく佐賀西部広域水道企業団からの受水に依存しているため、例年に比べて高くなっている。
 ⑦施設利用率については類似団体と比較しても良好な状態である。
 ⑧有収率については、漏水調査の実施により大寒波等により低くなっていた平成28年度以前のポイントまで改善しつつも再度下降が見られる為、事業統合後も漏水調査を実施し有収率向上に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率及び②管路経年率は、類似団体と比較して老朽化の進行が懸念される。有形固定資産減価償却率が平成26年度から上昇している背景としては、新地方公営企業会計基準に基づくみなし償却分を固定資産の減価償却に計上したためである。
 事業統合後、管路の老朽化が進行しないよう、更新をしていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

管路経年率が高水準であり、且つ、管路更新率が低い点を鑑みると依然として老朽化が進行している点が懸念されるため統合後も引き続き管路の更新に注力する必要がある。
 運営基盤の強化を図る目的で近隣市町と佐賀西部広域水道企業団との事業統合が行われる為、効率的な管路の更新投資を増やしていく必要がある。